

日本歯科大学健康公開講座

(関屋地区公民館共催)

解体新書について知る!!

根の先の病気とは??

- ◆日 時 平成 28年 2月 21日(日) 午前10時より12時まで
- ◆会 場 関屋地区公民館(3階ホール) 新潟市中央区関屋昭和町3丁目148-1
☎025-266-4939
- ◆演題・講師

① 解体新書と日本の医学

安永3年(1774年)に杉田玄白らが訳して江戸で出版した『解体新書』は、それまで日本人が抱いていた「人間のからだ」に対するイメージを根底からくつがえしました。もとの本である『ターヘル・アナトミア』はドイツ人の著書で、図を多く用い、からだの仕組みをわかりやすく解説した教科書でした。当時のヨーロッパではロングセラーとなり、ラテン語やフランス語、オランダ語に訳されました。和訳本の『解体新書』は序図1巻、本文4巻からなり、同書の刊行によって日本国内ではその後急速に西欧の学問が普及していきます。新潟県内にも『解体新書』は4~5組あると伝えられており、日本の医学の発展に大きな影響を与えました。

日本歯科大学新潟生命歯学部 医の博物館 参与

日本歯科医史学会理事・日本医史学会代議員

博物館学芸員

修士(学術) 樋口 輝雄

② 根の先の病気ってなあに?

歯の中心には細い管があり、神経や血管などが入っています。虫歯が深くなると中で炎症を起こします。ひどくなるとズキンズキンと痛みだし、そのまま放置するとやがて組織は死んでしまいます。痛みが消えるため、自然に治ったように思われますが、実は根管の中の死んだ組織には細菌が繁殖し、今度は歯の周囲を刺激します。その結果、膿が貯留し、歯ぐきが腫れてくるのが根の先の病気です。歯医者さんで管の中を清掃し、消毒すると、病気を治すことができます。今回は、この根の先の病気のでき方・治り方についてお話ししたいと思います。

日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第1講座 教授

日本歯内療法学会理事長 歯内療法学指導医・専門医

日本歯科保存学会理事 歯科保存治療指導医・専門医

歯学博士 五十嵐 勝

- ◆申込み 当日、会場で受け付けます。(参加費無料)

- ◆お問い合わせ 日本歯科大学新潟生命歯学部 庶務部 ☎025-211-8144

- ◆備考 *この公開講座は、「いきいき県民カレッジ」の講座となっています。
*駐車場の用意がありませんので、ご承知ください。